



2014年度  
NPO法人あかりプロジェクト

# 事業報告書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

## 〇はじめに

～事業の経過 2014年度をふりかえって

任意団体として活動を開始してから2014年度までの5年間、「平成32年度には全国47都道府県に摂食障害の支えあいコミュニティを実現する」ことを目指してリカバリーフレンドステッププログラムを行ってきましたが、リカバリーフレンドコミュニティ水平展開の限界という実情を踏まえ、2015年度はすでに全国で活動をおこなっている自助グループや、これから独自にグループを立ち上げたい方との繋がりがづくりに重点をおくこととして活動をスタート。これまでリカバリーフレンド育成を目的におこなってきたセミナーをセルフヘルプグループセミナーと改名し、関心がある経験者すべてを対象としました。また、第18回日本摂食障害学会学術集会のパネルディスカッション「当事者の視点～自助グループ活動の現状と今後の課題」への登壇にあたり、他グループ登壇者と活動に関する意見交換を積み重ね、長期的には摂食障害当事者や関係者が協働できる仕組みを念頭に入れつつ、学会終了後もメールや電話などで意見交換を続けています。

組織運営面では年度の始めに運営メンバー2名が活動に時間を割けなくなり、これまでの体制が機能しない状況となる中、今年度は今後の組織運営体制や活動の方向性を模索する年度と位置づけ、石川県内の先輩社会起業家にメンタリングを依頼し今後の方向性について様々な可能性を検討しつつ最低限の事業を維持する姿勢で活動を行いました。リカバリーフレンド制度を休止し地域でコアに活動しているメンバーを理事として迎えるなどの新たな組織体制、地域で仕事として活動を行うことができるモデルづくりとノウハウ移転といった新たな活動の方向性は平成27年度の事業計画にも反映しています。

活動6年目にして転換期を迎えた当プロジェクトですが、今年度も何とか無事に活動を継続できたのは、ひとえにお力添えを賜った多くの皆様のおかげです。数々のお力添えに心より感謝申し上げます。今後の施策に資するため、ぜひ、この活動報告をご一読いただき、忌憚のないご意見を賜ると同時に、今後ともプロジェクトに対するご理解・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2015年4月

## 2014年度NPO法人あかりプロジェクト事業報告書 目次

## I. 事業の実施に関する事項

## 【特定非営利活動に係る事業】

## ① 当事者コミュニティ形成・運営事業

- 未来蝶マイページ・リカバリールームの運営 ..... 4
- あかりトークの運営
- 親子茶話会の運営 ..... 5
- あかりペアトーク

## ② 支援者育成事業

- セルフヘルプグループセミナー ..... 6
- 福岡でのRFコミュニティ整備

## ③ 当事者コミュニティ形成支援事業

- 院内支えあい活動立ち上げコンサルティング ..... 7

## ⑤ 交流促進事業

- 他自助グループ主宰者との交流・意見交換

## ⑥ 啓発事業

- 未来蝶.net記事内容の拡充 ..... 8
- iphoneアプリの配布
- 『摂食障害を語ろう 第2版』『摂食障害あいうえお辞典』の配布 ..... 9
- 講演会講師

## ⑦ 調査・研究事業

- 地域の摂食障害環境に関する調査・研究 ..... 10
- 学術的研究

## II. 組織運営に関する事項 ..... 11

I. 事業関係

①当事者コミュニティ形成・運営事業

○未来蝶マイページ・リカバリールームの運営

全国の仲間とわかちあいができるウェブコミュニティ「未来蝶マイページ」及びリカバリーフレンド(以下RF)とわかちあうウェブ掲示板「リカバリールーム」を引き続き運営。コメント返信に携わるメンバーとして新たに他の自助グループ主宰者にも参加を依頼し、より多様性のある空間づくりを模索した。

実施日時	2014年4月～2015年3月
実施場所	団体事務所(管理・運営)
従事者の人数	6名(事務局、RF、他グループ主宰者)
受益対象者の範囲及び人数	未来蝶マイページ会員のべ244名
支出額	73,701円



○あかりトークの運営

当事者や経験者の交流の場として地域のRFが開催。気持ちや悩みをわかちあった。京都市は新たなRFメンバーが京都市内のほか舞鶴市内でも開催を開始した。

実施日時	石川: 毎月第2(土) 10:00～12:00 第4(水) 10:00～12:00 富山: 毎月第4(土) 10:00～12:00 京都: 毎月第2(日) 14:30～16:30 舞鶴(1月より): 毎月第4(日) 14:00～16:30 東京: 毎月第4(日) 14:00～17:00
実施場所	金沢市女性センター、金沢市教育プラザ富樫、真生会富山病院、ゆめりあうじ、中京区いきいき市民活動センター、舞鶴市西駅交流センターウィメンズプラザ東京 など
従事者の人数	8名(事務局およびRF)
受益対象者の範囲及び人数	摂食障害の本人延べ171名
支出額	61,210円



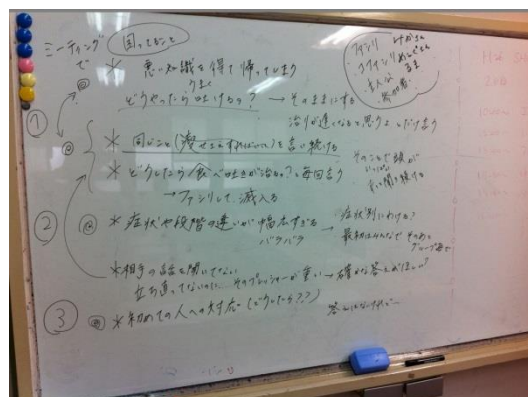


## I. 事業関係

## ②支援者育成事業

## ○セルフヘルプグループセミナー

リカバリーフレンドステッププログラムの一環として昨年度まで開催していたセミナーを改名し、対象者を「既に他の自助グループを運営している方」「これからグループを立ち上げたい方」に広げ、広く摂食障害の自助活動に関する学びあい、わかちあいをを行った。



実施日時	石川：6月28日(土)～29日(日)、大阪：7月19日(土)～20日(日) 東京：11月8日(土)～9日(日)
実施場所	金沢市女性センター、市民交流センターあさひ東、代々木オリンピックセンター
従事者の人数	7名(事務局および顧問)
受益対象者の範囲及び人数	摂食障害経験者の受講者15名
支出額	177,132円

## ○福岡でのRFコミュニティ整備

昨年度、アステラス製薬(株)の患者会助成を受けて土台づくりを行った福岡でのRFコミュニティは、昨年度の第1回あかりトーク開催以降、活動休止状態になっている。第2回あかりトークの開催ができるようにメンバーとの意見交換など体制づくりの模索を引き続き行った。

実施日時	2014年4月～2015年3月
実施場所	電話やメールでのやり取り
従事者の人数	2名(事務局およびRF)
受益対象者の範囲及び人数	九州地区のあかりトーク参加希望者
支出額	9,722円

## I. 事業関係

## ③当事者コミュニティ形成支援事業

## ○院内支えあい活動立ち上げコンサルティング

昨年度に引き続き、提携病院内で「あかりトーク」を定期的に開催するための基盤づくりとして、ベテランRFが出向いて「あかりトーク」「親と子の茶話会」を開催。地域のメンバーで継続的に事業運営できる体制づくりを模索した。

実施日時	2014年4月～2015年3月
実施場所	富山県射水市:真生会富山病院
従事者の人数	3名(事務局およびRF)
受益対象者の範囲及び人数	上記病院および通院患者さんや家族約30名
支出額	58,195円



## ⑤交流促進事業

## ○他自助グループ主宰者との交流・意見交換

摂食障害を取り巻く社会環境整備によりダイナミックに取り組んでいくために、今年度はその土台づくり期間と位置づけ、他自助グループ主宰者との交流・意見交換に力を入れた。未来蝶マイページやセルフヘルプグループセミナーをオープンにし、学術的活動に協力して取り組む中で、長期的には摂食障害当事者や関係者が協働できる仕組みを念頭に入れつつ、引き続きメールや電話などで意見交換を続けていきたい。

実施日時	2014年4月～2015年3月
実施場所	電話やメールで
従事者の人数	1名(事務局)
受益対象者の範囲及び人数	
支出額	0円

I. 事業関係

⑥啓発事業

○未来蝶.net記事内容の拡充

回復に役立つような情報を集めたウェブサイト“未来蝶.net”において 各地のイベント・ワークショップ情報や自助グループ情報など、随時記事を更新した。

実施日時	2014年4月～2015年3月
実施場所	団体事務所(管理・運営)
従事者の人数	1名(事務局)
受益対象者の範囲及び人数	未来蝶.netの閲覧者約37,000名
支出額	0円



○iphoneアプリの配布

昨年度に引き続き『まいっか100smile』『まいっか100smilevol.2』『摂食障害あいうえお辞典』『石巻100voice』の4つのiPhoneアプリを配布した。

実施日時	2014年4月～2015年3月
実施場所	団体事務所(管理・運営)
従事者の人数	1名(事務局)
受益対象者の範囲及び人数	iPhoneアプリの閲覧者22名
支出額	8,424円





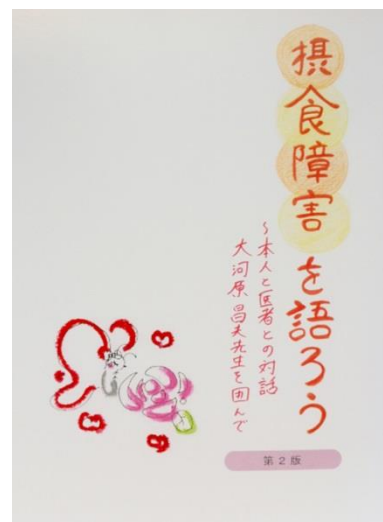
## I. 事業関係

## ⑥啓発事業

## ○『摂食障害を語ろう 第2版』『摂食障害あいうえお辞典』の配布

当団体相談役で甲府住吉病院の大河原昌夫医師と2013年に発行した小冊子、および昨年度作成した『摂食障害あいうえお辞典』を未来蝶.net上やあかりトーク会場などで引き続き配布した。

実施日時	2014年4月～2015年3月
実施場所	団体事務所(管理・運営)
従事者の人数	1名(事務局)
受益対象者の範囲及び人数	書籍の読者18名
支出額	823円



## ○講演会講師

今年度は2箇所では活動発表を行った。

実施日時と内容	<p>○女性センターフェスティバル 2014年10月11日(土)13時～ 於:石川県女性センター 題目「摂食障害の孤立化と長期化を減らしたい！」 発表:村田いづ実</p> <p>○金沢香林坊ロータリークラブ「地域のNPOに感謝する会」 2014年10月25日(土)14時～ 於:東急ホテル 題目「摂食障害の孤立化と長期化を減らしたい！」 発表:村田いづ実</p>
従事者の人数	1名(事務局)
受益対象者の範囲及び人数	聴講者約50名
支出額	0円

## I. 事業関係

## ⑦ 調査・研究事業

## ○地域の摂食障害環境に関する調査・研究

昨年度に引き続き、情報提供で活動に参加するあかりメンバーに向けて、ほしかったサポートや回復のきっかけ、居住地域の摂食障害を取り巻く環境について調査を行った。

実施日時	2014年4月～2015年3月	従事者の人数	1名(事務局)
実施場所	団体事務所		
受益対象者の範囲及び人数	あかりメンバー66名	支出額	0円

## ○学術的研究

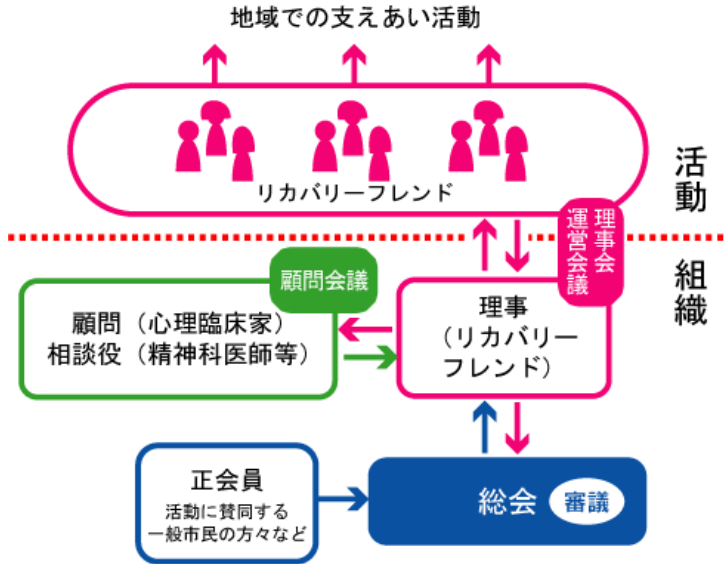
摂食障害セルフヘルプグループにおけるリーダーシップを複数人で共有する仕組みについて把握するため全国の自助グループ主宰者にアンケート調査を行い結果を日本摂食障害学会で発表した。また、精神保健福祉や摂食障害分野の行政予算に自助活動の観点が進められた場合の社会的インパクトを考察し、自助活動と行政、関係各所との連携について今後の可能性と課題を検討。同様に学会発表した。

実施日時と内容	○セルフヘルプグループのリーダーシップに関するアンケート調査:2014年6,7月 ○学会発表:2014年9月13日第18回日本摂食障害学会・学術集会 ・一般演題「経験者・当事者・関係者による摂食障害者回復支援のためのNPO活動—支援者育成プログラム」 ・パネルディスカッション2「当事者の視点～自助グループ活動の現状と今後の課題」にて「ピアサポートは公共サービスになり得るか～摂食障害の孤立化と長期化を解決する持続可能な方策の1案として」
実施場所	あかりトーク会場など、大阪国際会議場
従事者の人数	2名(事務局、顧問)
受益対象者の範囲及び人数	発表の聴衆者約50名
支出額	21,587円

※「④セミナーの企画・開催事業」「⑧その他、目的の達成に必要な事業」は26年度は実施なし

※「その他の事業」は定款に記載なし

## ○ 組織体制



昨年度までは上図のように理事会や総会にはかかる必要のない活動に関する実際的な事柄はリカバリーフレンドから成る運営メンバーで運営会議を開き決定しながら進め、必要な際には顧問会議やメール、電話などで顧問・相談役に助言を求めながら地域での活動を行うという体制をとってきた。

今年度は年度初めから運営メンバー3名のうち2名が活動に時間を割くことができなくなったことから実質的にこの体制が不可能となり、また、リカバリーフレンドステッププログラムも運営メンバーまでのステップを踏むメンバーが稀であることから、新たな運営メンバーを募ることも難しい状況であった。

そこで、今年度は代表理事山口が事務局機能および運営会議機能を担い、最低限の活動を持続する中で今後の組織体制についてもあらためて素案作りや地域RFメンバー、顧問との意見交換を行った。翌年度からはリカバリーフレンド制度を廃止し地域でコアに活動しているメンバーを理事として迎えるなどの新たな組織体制で進める予定である。

- 顧問会議 2014年4月27日(日)10:30～13:00 於:金沢市教育プラザ富樫
- 通常総会 2014年4月27日(日)13:30～14:30 於:金沢市教育プラザ富樫
- 運営会議

第1回 2014年4月27日(日)13:30～14:30 於:金沢市教育プラザ富樫  
その後は随時メールや電話でやり取りをしながら活動を進めた